様式第1号

事後評価シート

県土整備部

番号	事業名 箇所名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由	事後評価の結果　※２	総合評価	担当課	特記事項
				着手	※1 再評価	完成						
1	道路事業 国道218号 岡富拡幅	延岡市	L=1,300m W=13.0 (18.5)m	H18	ー	H24	4,700	①	【事業の目的】 ・東九州自動車道延岡ICへのアクセス向上 ・安全で円滑な交通の確保 ・歩行者、自転車等の安全確保 【事業効果の発現状況】 ２車線を４車線へ改良したことで、交通の渋滞が解消し、走行速度が改善され、円滑な交通が確保された。 また、歩道の設置により、歩行者や自転車の安全が確保された。 時間短縮効果 改良前　走行速度37km/h　所要時間 約2分 改良後　走行速度60km/h　所要時間 約1分 交通量 計画交通量（H42推計）：【4車線部】17,000台／日 【2車線部】　5,800台／日 H27センサス（速報値）：【2車線部】　8,200台／日 【事業による環境の変化や環境保全】 車道の増設並びに交差点改良により、渋滞解消が図られ、騒音が低減された。 【施設の維持管理状況】 適正に維持管理されており、道路管理上の問題は無い。 【今後の事業評価の必要性】 当該区間の整備により、延岡ICへのアクセス向上や安全で円滑な交通が確保されるなど、所定の効果が発現しており、更なる事後評価の必要性はないものと考えられる。 【改善措置の必要性】 当該区間の整備により、走行性の向上や、歩行者等の安全確保が図られており、今後の改善措置の必要はないものと考えられる。 【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】 特になし。	事業効果が認められる	道路建設課	特になし

（対象理由）　①全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業
②再度、事業評価の必要があると判断した事業

※1　再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。
※2　事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。